

平成24年度一般会計決算の概要(ポイント)

決算の全体像

- ◇歳入は、4,682億円。(対前年度比 △ 323億円)
- ◇歳出は、4,645億円。(対前年度比 △ 298億円)
- ◇実質収支は、5億円。(対前年度比 △ 19億円)
- ◇「紀伊半島大水害からの復旧・復興」、「経済活性化」、「くらしの向上」を3つの柱として政策課題に積極的に対応。

歳入の状況

- ◇県税、地方交付税(その振替である臨時財政対策債を含む)等の主要な一般財源は、
②3,357億円から ②4,347億円に減少(△10億円)。
- ◇諸収入(△153億円)、繰入金(△65億円)、財産収入(△46億円)等が減少したことにより、歳入全体では323億円の減少。

歳出の状況

- ◇義務的経費は、公債費が増加したことにより、②3,249.5億円から ②4,250億円に増加(+5億円)。
- ◇投資的経費は、紀伊半島大水害からの復旧・復興を着実に推進した結果、②3,684億円から ②4,715億円に増加(+31億円)。
- ◇一般施策経費は、引き続き「経済活性化」と「くらしの向上」に向けた諸施策を積極的に推進したが、23年度に「文化施設等整備基金」を移し替えたことなどにより、②3,176.4億円から ②4,143億円に減少(△334億円)。

収支の状況

◇財政調整基金を予算どおり10億円取り崩すことにより、黒字を確保。

実質収支 5億3百万円(㉓24億41百万円 △19億38百万円)

<参考> 県債残高 ㉔年度末 10,568億円 (㉓年度末 10,478億円 +90億円)
うち交付税措置がなく県税等で償還する額
4,346億円 41.1%(△38億円 △0.7%)

財政調整基金の残高

㉔年度末 183億円 (㉓年度末 180億円)

24年度中の基金増減

取り崩し額 △10億円

積立額 13億円 (前年度決算剰余金の1/2等)

差引 3億円

財政状況の指標

◇一般会計のほか特別会計等の決算額を含め、財政状況の指標を算定。

◇本県の指標はいずれも基準をクリア。

<資金繰りの状況を表す指標>

指標の種類	H24本県数値	H23本県数値	基準
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「-」 (△0.21%)	「-」 (△0.86%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「-」 (△6.18%)	「-」 (△6.87%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	11.6%	11.6%	<25%>

<負債の状況を表す指標>

指標の種類	H24本県数値	H23本県数値	基準
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	196.7%	208.3%	<400%>

※表中、基準欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準